

広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設
公開シンポジウム

今、保育の質を問う

日時 平成30年11月27(火) 13:00~15:30

場所 広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)

使用言語 英語, 日本語

<基調講演>

保育の質をどのように評価するのか —ドイツの事例から—



Prof. Dr. Susanne Viernickel
ズザーネ・フィールニッケル教授
ライプツィヒ大学教育学部
(幼児教育学)

心理学と社会学の分野で教育を受け、ベルリン自由大学において「生後2年の乳児の相互作用における共通の意味」について博士論文を執筆。

主な研究内容は、保育者の専門性の開発、観察方法、幼児の仲間関係、教育者の教育活動への必要性、就学前教育における「質と教育」の重要性など。

代表的な著書に『保育者のストレスを認識し、健康を促進する方法について』、『幼児教育における質的研究』などがある。

<報告>

中坪 史典(広島大学大学院教育学研究科准教授)

Dinh Thi Thu Hang (広島大学大学院教育学研究科博士課程後期)

<司会>

七木田 敦 (広島大学大学院教育学研究科教授)

主催 広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設

共催 広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI)

参加申し込み・問い合わせ先

附属幼年教育研究施設 (大場 由美子)

E-mail: obayumi@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-4388